

ふるさと探訪

第55回 碓（いかり）神社



市営玉津団地のすぐ北側、渦井川河口近くの木立ちの中に、地元で「おいかりさん」の愛称で呼ばれている碓神社があります。

碓神社は、かつて明神木村にあり、その境内には大きな木がそびえています。碓明神の大樹であったことから、



▲遷座を重ねた社も今は静かに…

明神木の地名が起こったといわれています。その後、船屋の丸山を経て、延宝7（1679）年に現在地へ移りました。海岸部の新開地を追って遷座しており、新開地を案内する地主神として、今日まで祭られています。

また、碓神社には8枚の棟札ひねみだが残されており、その中でも永享6（1434）年のものは、県内では5番目に古く、全国的にも珍しい呪術的要素をもつものです。さらに中世―近世―近代と各年代が揃って残っていることから、神社の沿革史や村名の変遷、宝永地震の記録など、地域史



■場所 玉津597
■駐車場 なし



▲境内の木立ちの向こうには市営玉津団地

解明の貴重な資料となっています。